

2016年、水戸を感動で包み込んだ

音楽劇「夜のピクニック」が帰ってくる!

水戸芸術館開館30周年記念事業 第二弾
2020年10月 再演決定!!

みんなと夜歩く
それだけで
どうしてこんなに
特別なんだろう

原作: 恩田陸『夜のピクニック』(新潮文庫刊)

脚本: 高橋知伽江 演出: 深作健太 作曲・音楽監督: 扇谷研人

企画製作: 水戸芸術館ACM劇場

水戸芸術館演劇部門芸術監督: 井上 桂

出演:

吉川 友 加藤良輔 安達勇人 北川理恵

剣 幸(特別出演) ほか

水戸芸術館ACM劇場 2020年10月1日(木)~4日(日)

* 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、当初の予定より日程を短縮しました。

公演に関するお問合せ

□水戸芸術館 ACM劇場 茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL: 029-227-8123 FAX: 029-227-8130

担当: 井上 桂 katsura@arttowermito.or.jp

高比良理恵 takahira@arttowermito.or.jp H.P 090-1267-6328

掲載に関するお問合せ

□水戸芸術館 広報係

TEL: 029-227-8111

担当: 川崎麻里子 marikon@arttowermito.or.jp



音楽劇『夜のピクニック』再演 ～コロナ禍状況下における公演規模の変更について～

音楽劇『夜のピクニック』は、まさに水戸の財産と言うべき作品で、初演の時に多くの皆様に喜ばれ、その再演が強く望まれた公演は他にはありません。ですから、再度この作品を水戸にお届けすべく、初演が終了した時から再演の準備に入ってきました。

今年に入って、初演の時に力を注いでくださった皆さん、そして新しくご協力をしてくださる皆様の力が結集し始めたときに、新型コロナウイルス感染症が広がり、制作作業は中断の止むなきに至りました。さらには、緊急事態宣言も発令され、市民生活や学校生活に多くの混乱が生じ、日常生活を元に戻すべく皆様在必死の努力をしていらっしゃる現状です。また感染予防のためのガイドラインや目安が出ておりますが、稽古場を維持すること、またお客様に適切な環境をご提供するには、多くの課題が山積している状況です。

以上を踏まえ、当初予定していた形での音楽劇『夜のピクニック』は、当初予定していた形での実施は困難ではあるものの、再演に向けて新たにお集まりいただきましたキャストの皆様と、今できる最善の上演スタイルを日々検討している状況です。

本年6月中旬の状況を踏まえ、お客様と公演関係者の安全を第一に考え、音楽劇『夜のピクニック』は、以下のようなスタイルで上演の準備を進めさせていただきます。今後の状況に即して、その都度適切な対応を検討していきますが、どうぞ、この状況をご理解いただき、今後も水戸芸術館 ACM 劇場の活動にご理解とご期待をいただきますよう重ねてお願いいたします。

水戸芸術館演劇部門
芸術監督 井上 桂

本年度、音楽劇『夜のピクニック』開催にあたり当初予定していた形態から下記の通り上演形態の変更をいたします。

- ① 当初予定していました公演期間を短縮いたします。
当初：2020年9月26日(土)～10月4日(日) 全10回上演予定
↓
変更後：2020年10月1日(木)～10月4日(日) 全5回上演予定
- ② ローカルキャストの参加を自粛いたします。
- ③ 料金の見直しと全席指定席販売→全席自由席での販売に変更いたします。
- ④ 客席は、ソーシャルディスタンスを確保し、適切な間隔でお座りいただきます。



この小説は、皆さんのものだ(恩田陸)

原作者の恩田陸氏は初演時のパンフレットに次のようにご寄稿いただきました。「思いがけなく舞台化されることになり、本当に小説の「舞台」となった水戸の地で公演されることになった。つくづく幸運な小説だと思う。こうなると、もはや自分のものとは思えない。この小説は、皆さんのものだ。ぜひとも、今度は舞台上「あの感じ」を共有していただければと切に願っている。」

また、再演に際して新たに恩田氏から

「初演の時の嬉しい驚きと感動は今も鮮やかです。
自分が原作者であることを忘れて涙したのを覚えています。
何より、どの曲も素晴らしくて『サントラが欲しい!』と思ったことも
(今も思ってますが)。
祝、再演! より多くの皆さんに観ていただけますように。」

上記のようにコメントを寄せていただきました。

初演時の感想より 抜粋

- ◆心を鷲掴みされたとても素敵な舞台です。ずっと忘れないで宝物にしたい作品です
- ◆この短い公演時間でこんな見事なドラマを…。素晴らしい。最高の歌と劇でした。
 - ◆原作・映画を見ていましたが、これほど感動する音楽劇になっているとは。もう一度見たい、ぜひ再演してください
 - ◆開始5分で高校時代が鮮やかに蘇り、涙が自然に溢れました。
 - ◆ACM劇場ならではの役者さんとの近さ、息遣いまで感じられて物語の中に入り込んでいきました
 - ◆水戸をもっと好きになりました。

この他にもたくさん再演を望むお声を初演時に頂いております。

水戸芸術館とは

水戸芸術館(館長:小澤征爾)は、2020年に開館30周年を迎えた茨城県水戸市にある複合文化施設です。演劇部門、音楽部門、美術部門の3部門が、ACM劇場(演劇)・コンサートホールATM(音楽)、現代美術ギャラリー(現代美術)を、企画・運営し、全国に発信しています。12年からは前任の高橋知伽江演劇部門芸術監督の企画による茨城県に縁のあるアーティストを支援することを目的とするプロジェクト、<未来サポート・プロジェクト>を立ち上げ、人材育成の面でも新たな道を開きました。17年に就任した井上桂演劇部門芸術監督もその路線を継承しつつ、水戸発信で国内各地での公演を実現させてきました。その集大成である『最貧前線 宮崎駿の雑想ノートより』は、宮崎駿オリジナル作品の国内初の舞台化という栄誉だけでなく、全国8か所の公演が実現し、各地で絶賛されました。水戸芸術館30周年記念公演の第一弾となった『最貧前線』に続く第二弾が、『音楽劇・夜のピクニック』です。



更にパワーアップしたキャストが集結！

今回も、実力派のメンバーが揃いました。益々活躍の場を広げている吉川友はじめ、水戸出身で実力派の舞台俳優として頭角を伸ばし始めている加藤良輔が引き続き出演。茨城出身で声優、コンサートライブ、舞台と幅広い活躍をしている安達勇人が新たに加わるほか、ミュージカル界の若き俊英北川理恵も加わります。剣幸も引き続き出演いたします。

物語も上演される 2020 年を反映し、新時代に相応しい設定も加わる予定です。
新たなメンバーと共に、更にパワーアップした内容で、皆様にお届けいたします。



吉川 友

2011 年ソロデビュー。抜群の歌唱力と巧みなトークも活かし海外活動も幅広く行う舞台「遥かなる時空の中で3」では主演を演じ「キューティン-Emotional」などにも出演。

加藤 良輔

2014 年ミュージカル「テニスの王子様」でデビュー。舞台を中心に確かな演技力と個性的な役作りで数多く出演。近年は RSK 名義でライブ活動も積極的に行っている。

安達 勇人

雑誌のモデルでデビュー。以来 TV、映画のみならず声優・舞台俳優と幅広い活動を繰り広げている。2018、19 年の ADACHI HOUSE 全国海外ツアーは、大成功を収めた。

北川 理恵

10 代の頃から数多くのミュージカルに出演し、主要な役を務める。舞台だけでなく人気アニメ「プリキュア」の主題歌の歌唱を連続で務めるなど幅広く活躍している。

剣 幸

宝塚歌劇団で 1985 年から月組男役トップスターとして「ミー&マイガール」など数々の名作に出演。退団後はストレートプレイ、コンサート映像と幅広く活躍している。

昨年 12 月に行われたオーディションでは、当館の教育プログラム「水戸子どもミュージカルスクール」の卒業生が 2 名、見事合格。憧れの舞台にデビューを飾ります。「楽しみながら学ぶ」という水戸芸術館の設立の理念が大きく結実する形になりました。



山本由奈 田代 明 荻沼栄音 片桐美穂 荻野紗那 高本晴香 久信田敦子 滝本 圭



ミヤタユーヤ 谷内龍平 田村佳名美 大内真智 川崎賢一 小林祐介 塩谷 亮

演奏：扇谷研人(ピアノ)、notch(パーカッション)



ものがたり

24時間一昼夜をかけて70キロという距離を歩く水戸一高の名物行事「歩く会」に生徒たちはそれぞれの思いを胸に抱いて参加する。

舞台は、10年前の「歩く会」を振り返る、榊 杏奈 (吉川友)と甲田聡子 (剣 幸)の再会から始まる。あの日、杏奈はある「おまじない」をかけたと言うのだ・・・。

聡子の娘・甲田貴子 (北川理恵)は「歩く会」で密かに賭けをしようとしていた。一方、クラスメイトの西脇融 (加藤良輔)は、ある事情から一日も早く卒業したいと願いながら親友の戸田忍 (安達勇人)と黙々と歩いていた。

長い行列となって歩く生徒たちの中には、恋の噂や去年の「歩く会」に現れた幽霊の話題が駆け巡る。やがて陽が暮れた頃、一年前にアメリカに引っ越した貴子の親友・杏奈の「おまじない」が動き出す。

果たして、おまじないの結果は？ 貴子の賭けは？

並んで一緒に歩く。ただそれだけなのに、たったそれだけのことが難しくて凄いこと。懐かしくて、切なくて、嬉しくて、ワクワクが止まらない青春賛歌。

水戸で生まれ育った音楽劇、待望の再演です！

*第二回本屋大賞(2005年)を受賞した恩田陸の「夜のピクニック」。ノスタルジックで、リリカルで、いつまでも読み続けていたい永遠の青春小説として読み継がれています。’06年に映画化され、’16年に水戸芸術館で音楽劇として舞台化されました。舞台化に当たっては、当時の芸術監督の高橋知伽江が自ら台本化、扇谷研人が作曲に当たりました。演出にはストレートプレイ・ミュージカルなどオールランドに活躍をしている深作健太。父である映画監督深作欣二が水戸出身ということもあって、観客として水戸芸術館に良く出入りしていましたが、水戸芸術館での演出デビューは、鮮烈な印象と残す快作となりました。



公 演 概 要

【STAFF】

原作: 恩田陸 『夜のピクニック』(新潮文庫刊)

脚本: 高橋知伽江

演出: 深作健太

作曲・音楽監督: 扇谷研人

美術: 伊藤雅子 / 照明: 倉本泰史 / 音響: 長野朋美 / 衣裳: 西原梨恵 / ヘアメイク: 中原雅子
ステージング・歌唱指導: 高城信江 / 稽古ピアノ: 伊藤祥子 / 演出補: 橋本昭博 / 舞台監督: 下重卓哉

宣伝美術: 早田二郎 / 宣伝協力: 吉田プロモーション / 制作: 高比良理恵、児玉ひろみ

プロデューサー: 櫻井琢郎 / 協力: 知道会・茨城県立水戸第一高等学校

水戸芸術館演劇部門芸術監督: 井上 桂

主催: 公益財団法人 水戸市芸術振興財団

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



【CAST】

吉川 友、加藤良輔、安達勇人、北川理恵・剣 幸(特別出演)

山本由奈、田代 明(劇団4ドル50セント)、荻沼栄音、片桐美穂、荻野紗那、高本晴香、久信田敦子、

滝本 圭、ミヤタユウヤ、谷内龍平、田村佳奈美 大内真智、川崎賢一、小林裕介、塩谷 亮

演奏: 扇谷研人(ピアノ) notch(パーカッション)

公演日程: 2020年10月1日(木)～10月4日(日)

劇場: 水戸芸術館 ACM 劇場

料金: 全席自由(整理番号付) 3,000円(税込)

当公演では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、隣のお座席と距離を置くように自由席といたします。お客様に安心して着席いただけるお席は当日係員がご案内します。お連れの方がいらしてもお隣に座れない場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、当日は整理番号順にご入場いただきます。

10月	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)
13:00		●	●	●
18:30	●		●	

* 未就学児のご入場はご遠慮ください。

* 新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく公演を中止にする場合がございます。

チケット取扱い

●水戸芸術館(9:30～18:00 月曜休館)

・エントランスホール内チケットカウンター

・チケット予約センター 029-225-3555

・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

●先行発売

財団運営維持会員: 2020年7月28日(火)9:30～ 電話・ウェブ予約のみ

水戸芸術館メンバーズ: 2020年7月29日(水)9:30～ 電話・ウェブ予約のみ

●一般発売 2020年8月1日(土)9:30～

お問合せ: 水戸芸術館 ACM 劇場 029-227-8123(10:00～18:00 月曜休館)

